
日本経済展望

2022年11月

 株式会社 **日本総合研究所**

調査部 マクロ経済研究センター

<https://www.jri.co.jp/report/medium/japan/>

目次

- ◆現状……………p. 1
- ◆景気分析……………p. 3
- ◆トピック……………p. 7
- ◆見通し……………p. 8
- ◆内外市場データ……………p.10

調査部 マクロ経済研究センター（国内経済グループ）

総括	北辻 宗幹	（ Tel: 080-3727-6569 Mail: kitatsuji.kazuki@jri.co.jp ）
現状分析	古橋 健司	
家計部門	小方 尚子	
外需	内村 佳奈子	
金融	白石 尚之	

- ◆本資料は2022年11月10日時点で利用可能な情報をもとに作成しています。
- ◆日本総研・調査部の「経済・政策情報メールマガジン」は下記urlから登録できます（右側QRコードからもアクセスできます）。
新着レポートの概要のほか、最新の経済指標・イベントなどに対するコメントや研究員のコラムなどを随時お届け致します。
<https://www.jri.co.jp/company/business/research/mailmagazine/form/>

本資料は、情報提供を目的に作成されたものであり、何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。本資料は、作成日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものですが、情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、情報の内容は、経済情勢等の変化により変更されることがあります。本資料の情報に基づき起因してご閲覧者様及び第三者に損害が発生したとしても執筆者、執筆にあたっての取材先及び弊社は一切責任を負わないものとします。

経済・政策情報メール
マガジン配信中！



Twitterアカウントも
開設しました！



概況：景気は緩やかに持ち直し

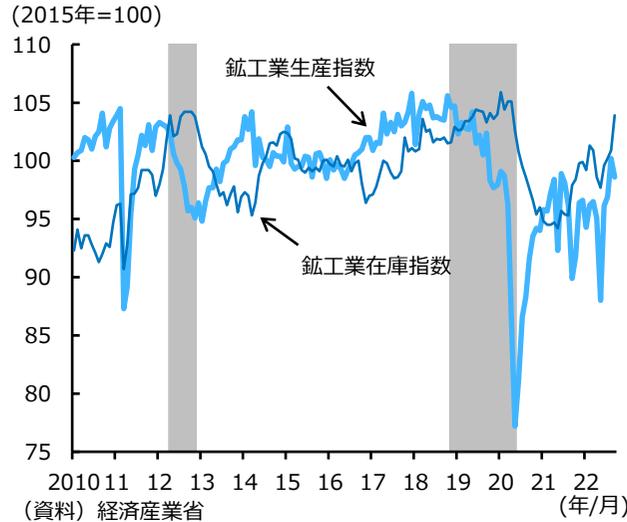
景気

景気動向指数は一致指数、先行指数ともに上昇



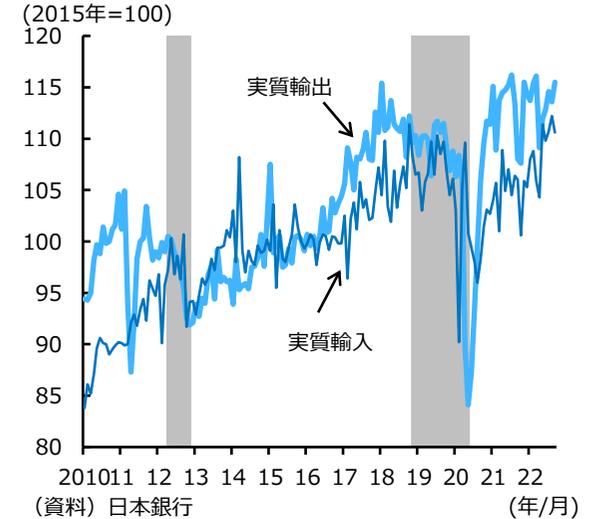
企業

鉱工業生産は、今夏以降の急回復が一服するも増加傾向を持続



外需

輸出は自動車関連や資本財が増加
輸入は内需の回復を受け、高水準で推移



雇用所得

失業率は2%台半ばで推移
名目賃金の伸びは物価を下回る状況



家計

消費は振れを伴いながらも緩やかに増加
住宅着工は年率80万戸半ばまで減少



物価

企業物価は高い伸びが持続
消費者物価は前年比3%に到達



※シャドー部は景気後退期。

製造業生産は一時的に下振れ、非製造業活動は持ち直し

◆製造業の生産活動は一時的に下振れ

9月の鉱工業生産指数は前月比▲1.6%と4ヵ月ぶりの低下。業種別にみると、自動車工業や化学工業などが減産。

先行きは、高水準の受注残が積み上がる電気・情報通信機械の増産や、自動車の挽回生産が予定されているものの、回復ペースは緩やかになる見込み。世界的な半導体需要の減少により、電子部品・デバイスは弱い動きが続くほか、これまで回復をけん引してきた海外向け半導体製造装置などの生産用機械も回復が一服する見込み。企業の生産計画によれば、多くの産業で増産が見込まれているものの、生産用機械が減産を予定。

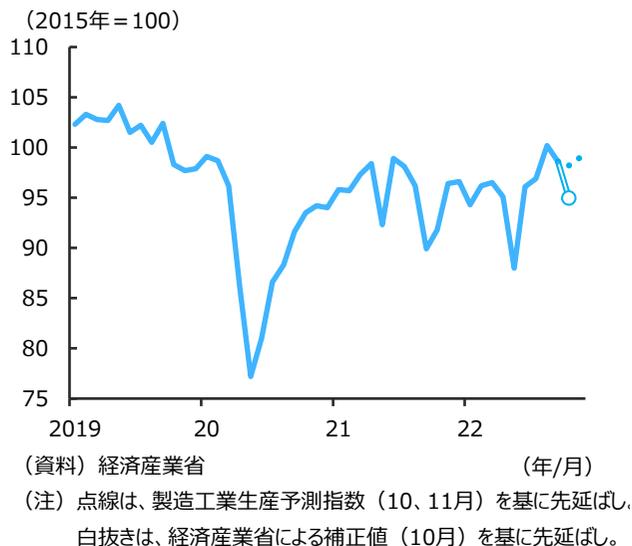
◆非製造業の活動は回復

8月の第3次産業活動指数は、前月比+0.7%と3ヵ月ぶりの上昇。第5世代移動通信システム（5G）やデジタルトランスフォーメーション（DX）の普及により、需要が堅調な情報通信業など幅広い業種が上昇したことが要因。

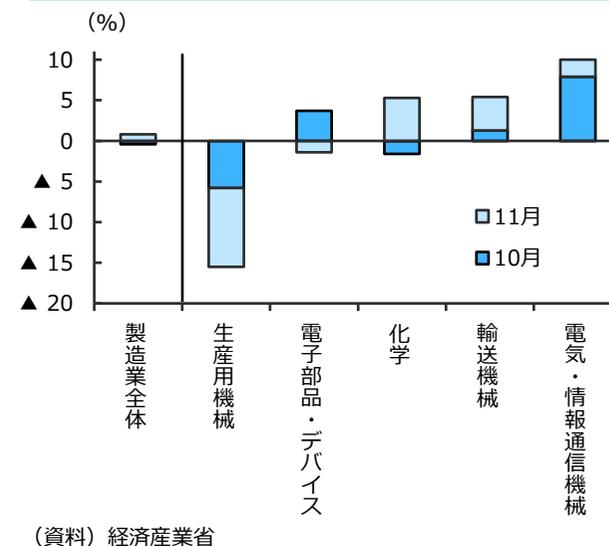
◆秋口以降、消費活動が活発化

9月の消費活動指数は、前月比+1.7%と3ヵ月ぶりの上昇。感染者数の減少により外出機会が増加したことを受けサービスが持ち直したほか、供給制約が緩和したことで自動車を中心に耐久財も回復。

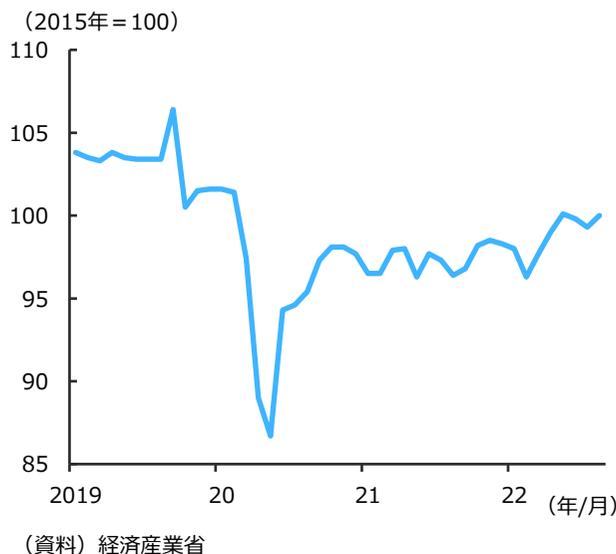
鉱工業生産指数（季調値）



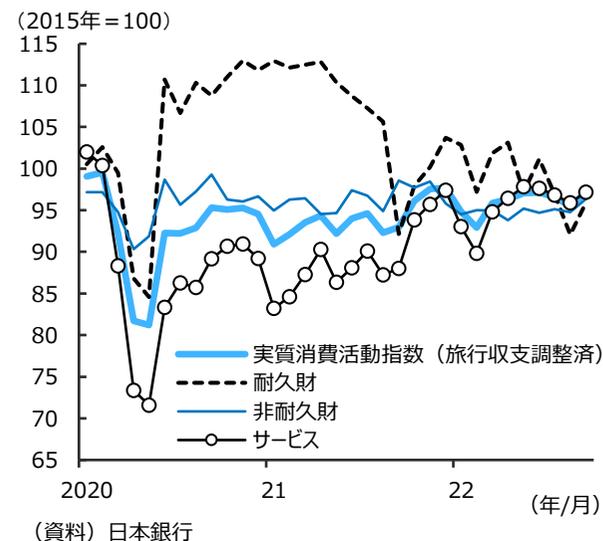
製造工業生産予測指数（季調値）



第3次産業活動指数（季調値）



消費活動指数（季調値）



財輸出は持ち直し、インバウンド需要は徐々に回復へ

◆ 輸送機械が大きく増加

9月の実質輸出は前月比+1.7%と2ヵ月ぶりの増加。品目別にみると、供給制約が緩和した輸送機械が大幅に増加したほか、世界的に堅調な設備投資を背景に資本財も高水準を維持。

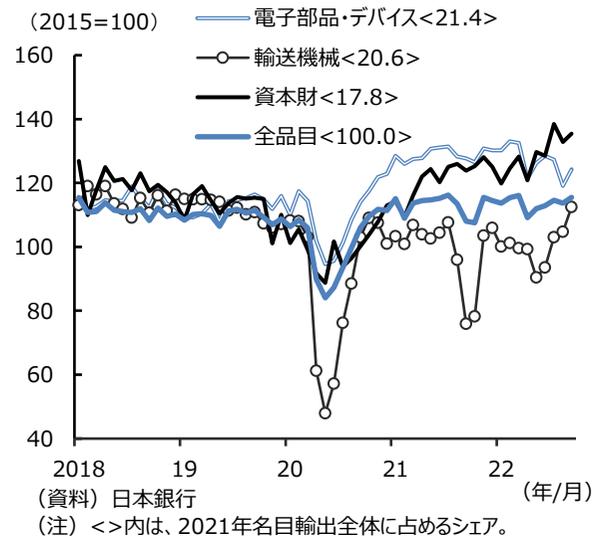
先行きを展望すると、輸出の伸びは鈍化すると予想。大企業・製造業の海外での製商品の需給判断D Iは先行き低下が見込まれており、外需は減速する見通し。品目別では、供給制約の解消が進むことで自動車などの挽回生産が輸出を押し上げるものの、半導体の循環的な落ち込みにより、電子部品・デバイスは減少傾向が続く見込み。

◆ 政府は水際対策を緩和

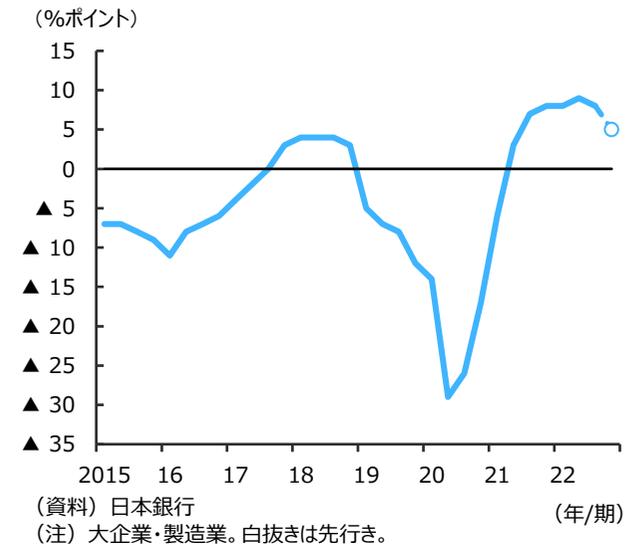
9月の訪日外客数は、コロナ流行後、初めて20万人を上回ったものの、2019年対比では9割減の水準。

政府は10月11日より、入国者数上限の撤廃・訪日客の個人旅行の解禁など、水際対策を大幅に緩和。訪日客の増加ペースは加速すると見込まれるほか、足元の円安進行も1人当たりの旅行消費額を増加させる見込み。ただし、2019年の訪日外国人の3割以上を占める中国では、ゼロコロナ政策によって海外渡航が制限されており、訪日客がコロナ前水準まで回復するには相当な時間を要する見通し。

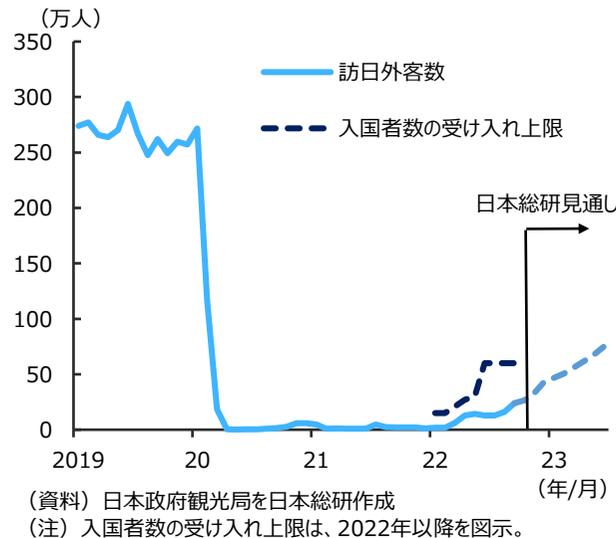
実質輸出（季調値）



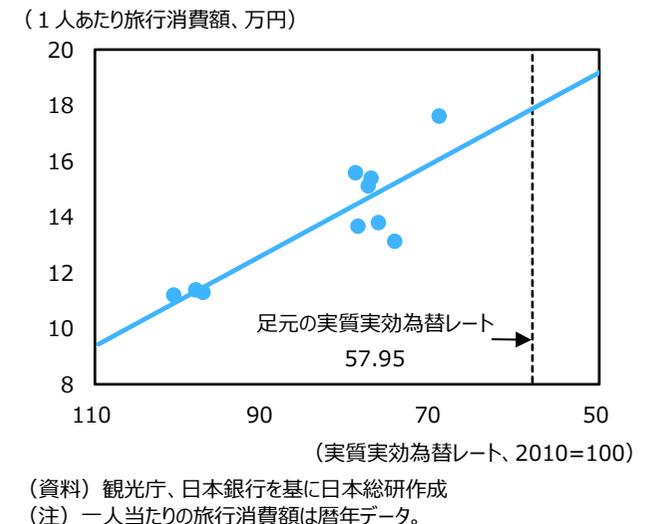
海外での製商品需給判断D I



訪日外客数（季調値）



為替レートと訪日客の旅行消費額の関係



設備投資は先行きも増加

◆企業収益は高水準を維持

法人企業統計によると、4～6月期の経常利益は、全産業で前期比+5.5%と3四半期連続の増益。7～9月期は、円安や資源高によりコストが一段と増加した一方、供給制約の緩和を背景に生産活動が回復したことで、製造業を中心に高水準の収益が実現した模様。

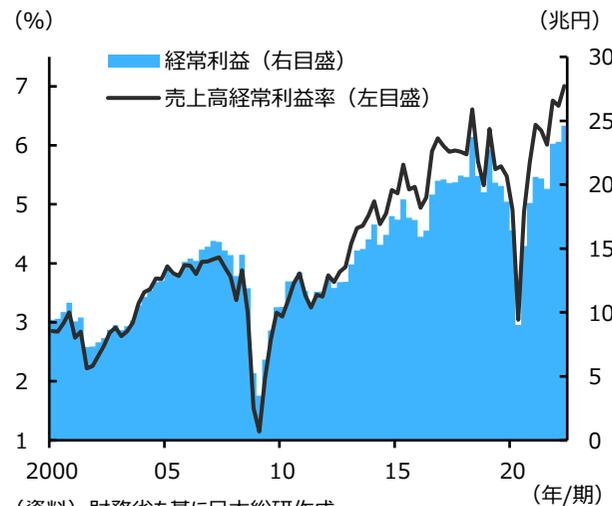
先行きの企業収益は増加基調が続く見通し。サービス消費やインバウンド需要が回復することで、宿泊・飲食サービスなどの消費関連業種の収益が持ち直し。また、今次局面では、過去に比べて仕入価格の上昇を販売価格に転化する動きが強く、今後もコスト増加による収益への悪影響は軽減される見通し。

◆企業の設備不足感強く

設備投資は増加基調が持続。ソフトウェア投資や機械投資が堅調に推移したほか、建設投資も緩やかに増加。

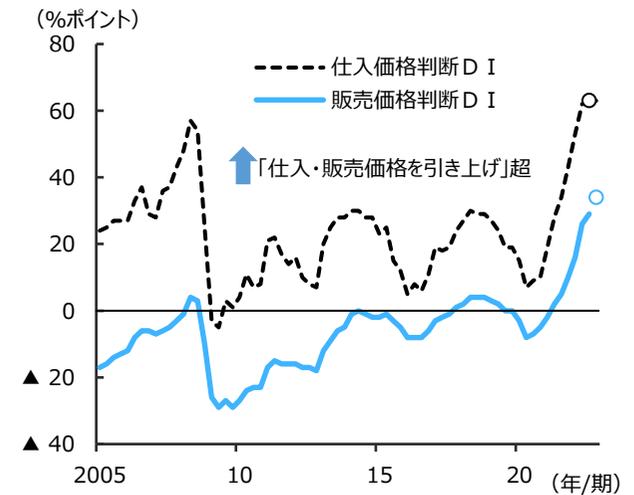
先行き、経済活動の正常化が進むにつれて、企業の設備不足感が強まり、投資は一段と増加する見通し。脱炭素化に向けた研究開発投資やデジタル化を目的とする情報化投資も活発。また、高水準の企業収益が続くことに加え、企業が保有する現預金が積み上がっていることも、資金面から設備投資を押し上げ。

経常利益と売上高経常利益率（季調値）



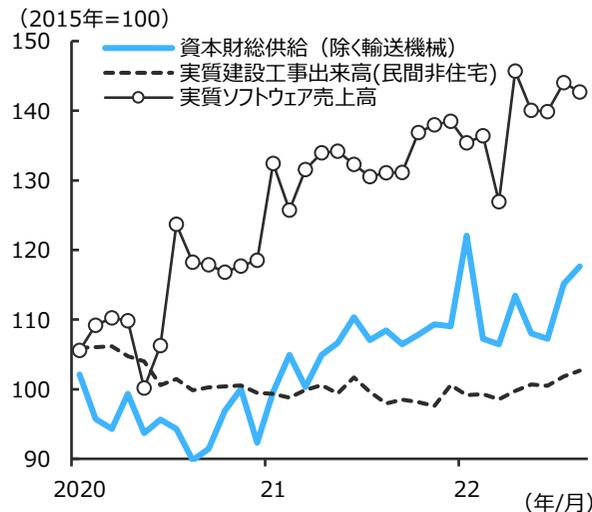
(資料) 財務省を基に日本総研作成
(注) 全規模・全産業（金融・保険業を除く）。

仕入・販売価格判断 D I



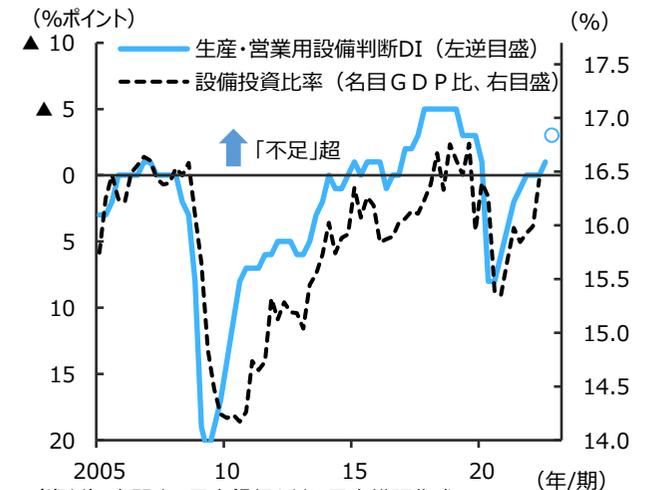
(資料) 日本銀行
(注) 白抜きマークは、9月調査での先行き。

民間設備投資指標（季調値）



(資料) 経済産業省などを基に日本総研作成

企業の設備過不足感と設備投資比率



(資料) 内閣府、日本銀行を基に日本総研作成
(注) 設備判断DIの白抜きマークは、9月調査での先行き。

雇用情勢は改善傾向も、実質賃金は減少

◆就業者数が増加

雇用情勢は改善傾向。就業者数は、感染状況が悪化した夏場も落ち込むことなく、増加傾向が持続。9月の失業率は2.6%と4ヵ月ぶりに小幅上昇したものの、これは、自己都合の失業者が増えたことが要因。

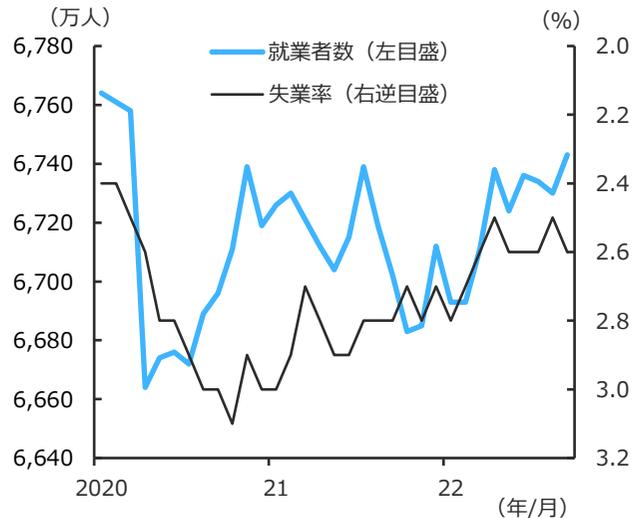
先行き、就業者数は緩やかな増加が続く見通し。サービス消費の回復に伴い、宿泊・飲食業を中心に求人数が増加しており、人手不足感が強まる状況。また、雇用調整助成金の特例措置が12月に原則終了するものの、すでに支給規模は縮小しているため、雇用情勢の悪化に繋がる可能性は小。

◆実質賃金上昇率はマイナス

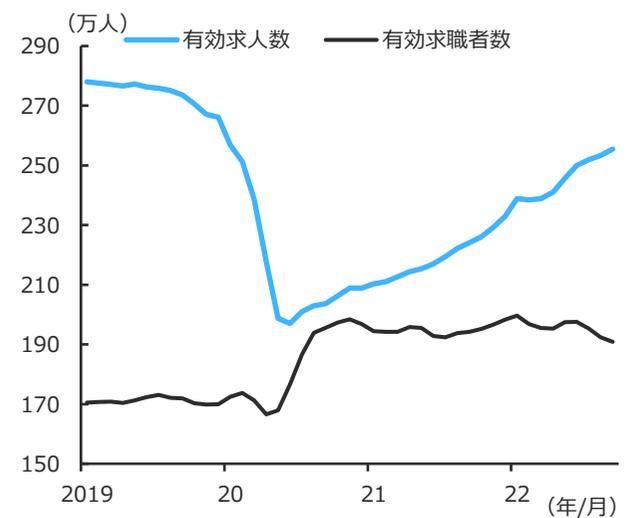
9月の現金給与総額は前年比+1.3%と、引き続き増加。職種別では、一般労働者が同+1.5%、パート労働者が同2.2%と伸びが上昇。ただし、物価上昇率が3%台半ばに達しているため、実質賃金は同▲2.2%の減少。

先行きは、①人手不足感の強まり、②最低賃金の引き上げ、③物価高をベアに反映させる動きなどを背景に、名目賃金は一般・パートともに緩やかな上昇が続く見込み。2023年の春闘で、連合はベア・定期昇給を合わせて5%程度の賃上げを要求。ただし、賃上げの原資が十分に確保できていない中小企業を中心に慎重な賃金設定スタンスを維持するため、物価上昇を上回る賃金上昇には至らない見通し。

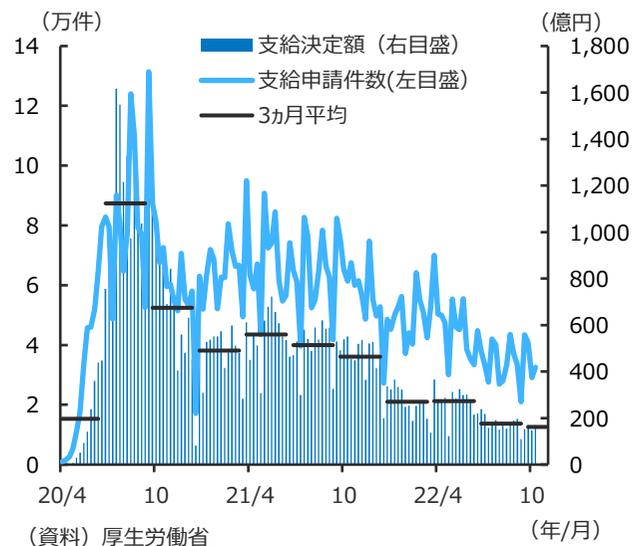
就業者数と失業率（季調値）



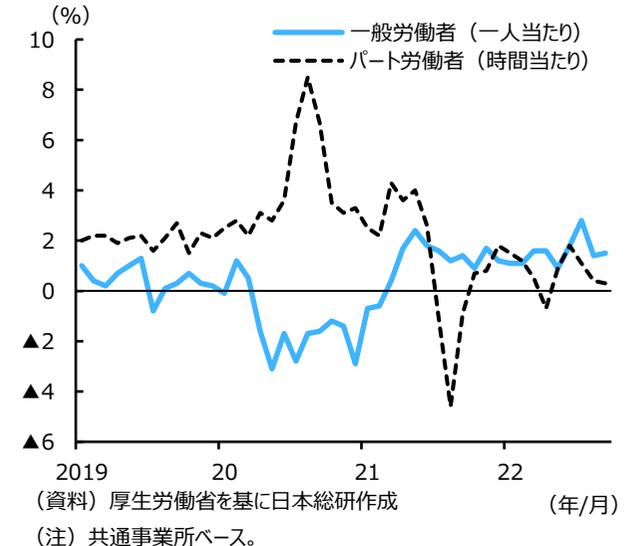
有効求人数と有効求職者数（季調値）



雇用調整助成金（週次）



名目賃金（前年比）



個人消費は持ち直しも、物価高が重石

◆個人消費は持ち直しの動き

個人消費は、秋口以降の全国的な感染者数の減少によりサービスを中心に持ち直し。

財消費も緩やかに回復。外出機会の増加に伴い、百貨店売上が増加。低迷が続いてきた自動車販売も、中国における都市封鎖の影響などに伴う部品供給の遅れが解消に向かい、持ち直しの動き。もっとも、高齢者の活動自粛傾向は根強く、消費回復ペースは緩やか。

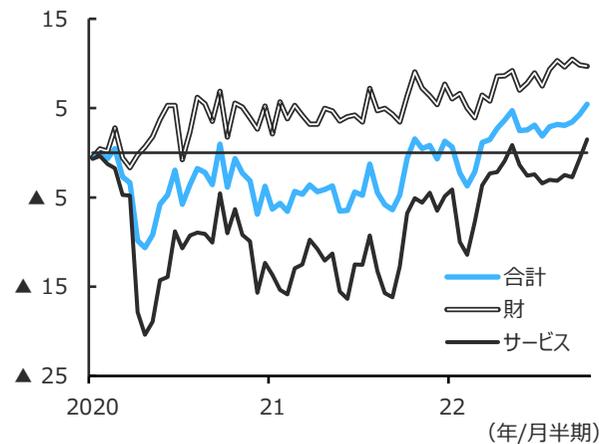
◆物価高と感染再拡大が懸念材料

先行きの個人消費はサービス関連のペントアップ需要を中心に回復する見込み。とりわけ、10月に適用対象が全国に拡大された旅行支援策がレジャー消費の回復を後押し。消費性向がコロナ前の水準に戻る場合、実質個人消費は6兆円（2.0%）増加。

ただし、物価高が家計の購買力を下押し。値上げの動きは、食料品・エネルギーだけでなく、幅広い品目に広がり。物価高による2022年度の家計負担の増加は前年比+8.7万円に上る見込み。中高所得者世帯を中心にコロナ禍で積み上がった過剰貯蓄や、低所得者世帯を対象とする現金給付などの政府による対策が物価高の悪影響を緩和すると見込まれるものの、消費者マインドの悪化により、消費が低迷するリスクに注意が必要。また、冬場にかけて感染状況が再び悪化し、消費回復を頓挫させるリスクも。

国内家計の消費額

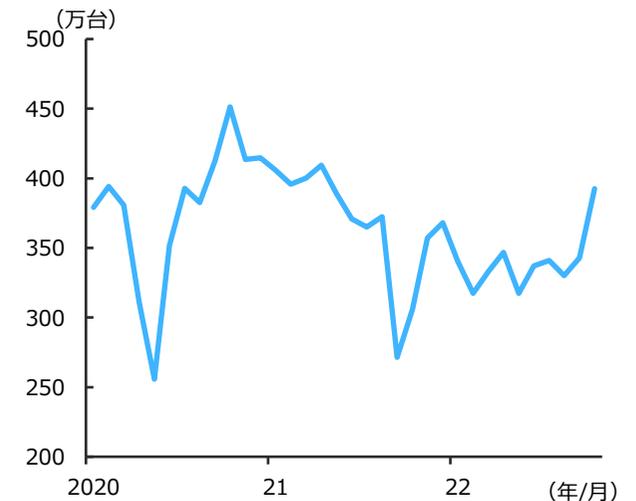
(2016~18年度同月平均対比、%)



(資料) JCB消費NOW

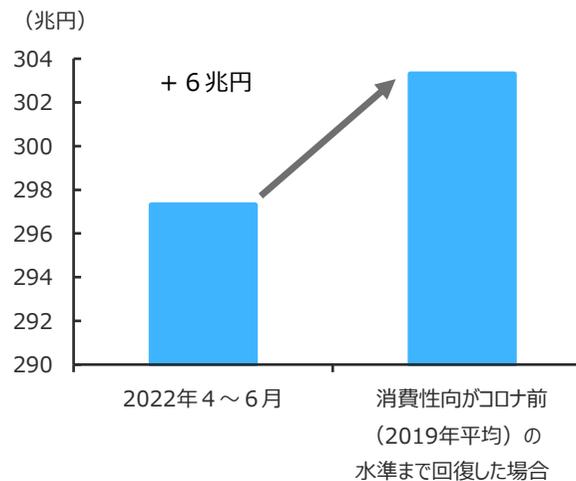
(注) クレジットカードの利用額を基に作成された消費統計。

新車登録台数（季調値年率）



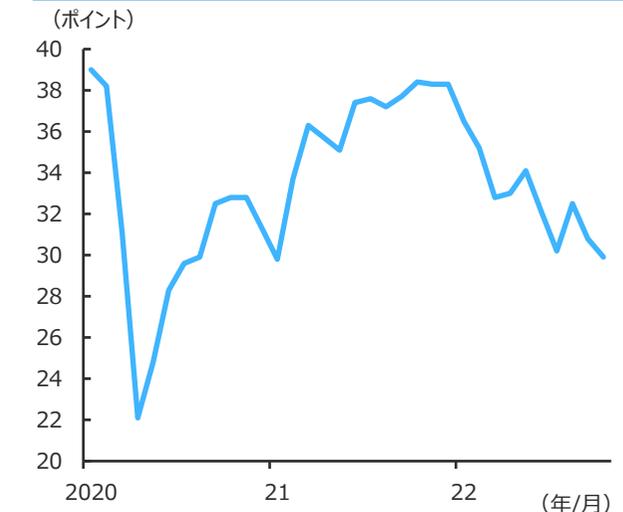
(資料) 全国軽自動車協会連合会、日本自動車販売協会連合会

実質個人消費の増加余地（年率季調値）



(資料) 内閣府などをもとに日本総研作成

消費者態度指数（季調値）



(資料) 内閣府

トピック：今後のインフレ対策は低所得世帯への支援に重点を

◆政府は一律の家計支援を決定

政府は今春以降、インフレ対策を強化。対策の柱は、価格抑制政策と低所得世帯支援。主な価格抑制政策として、燃料油価格激変緩和措置が挙げられ、ガソリン価格高騰を抑えるために石油元売り事業者に補助金を支給。低所得世帯支援として住民税非課税世帯への5万円の現金給付などを実施。

10月末に閣議決定された事業規模71.6兆円の総合経済対策では、価格抑制策が強化。従来の燃料油価格に加え、新たに電気代と都市ガス代にも激変緩和措置を適用。これにより、激変緩和事業の予算規模は当初の2兆円弱から9兆円程度に膨らむ見通し。

◆今後の対策は低所得世帯支援に重点を

今後のインフレ対策は、政策的な支援の必要性が高い低所得世帯への支援に絞る必要性。理由は以下2点。第1に、物価高は燃料油や電気・都市ガス代だけでなく、幅広い品目に及んでいること。消費者物価のうち9月のガソリン価格の上昇率（前年比7%）を上回る品目は消費支出全体の約12%にのぼるなど、価格上昇に広がり。第2に、物価高の悪影響は低所得者世帯ほど大きい点。今年度の物価上昇による負担増加額は、所得が最も低い階層で所得対比2.3%と最も高い階層の1.7倍。また、コロナ禍で蓄積した過剰貯蓄は低所得世帯で50万円にとどまり、全世帯平均（80万円）の6割程度と余裕に乏しい状況。

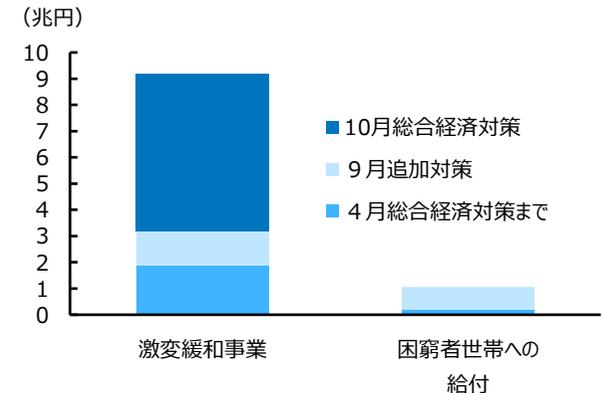
総合経済対策の概要

事業規模：71.6兆円（財政支出：39兆円）	
物価高騰・賃上げへの取組	37.5兆円（12.2兆円）
生活者・事業者支援	
電気料金激変緩和事業	
都市ガス料金激変緩和事業	
燃料油価格激変緩和事業	
フードバンク・こども宅食支援など	
危機に強い経済構造への転換	
賃上げ促進・中小企業支援	
円安を活かした「稼ぐ力」の回復・強化	8.9兆円（4.8兆円）
「新しい資本主義」の加速	9.8兆円（6.7兆円）
国民の安全・安心の確保	10.7兆円（10.6兆円）
今後への備え	4.7兆円（4.7兆円）

（資料）内閣府を基に日本総研作成

（注）各項目の括弧内は財政支出。

インフレ対策の予算規模（2022年度）

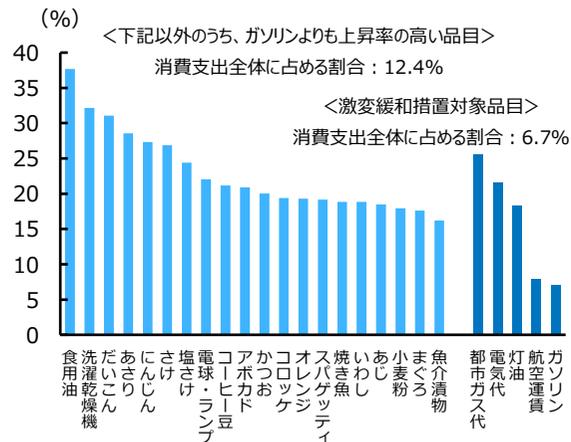


（資料）内閣官房、総務省を基に日本総研作成

（注1）激変緩和事業の10月予算は6兆円。

（注2）困窮者世帯への給付は、低所得子育て世帯と住民税非課税世帯などに対する特別給付金。

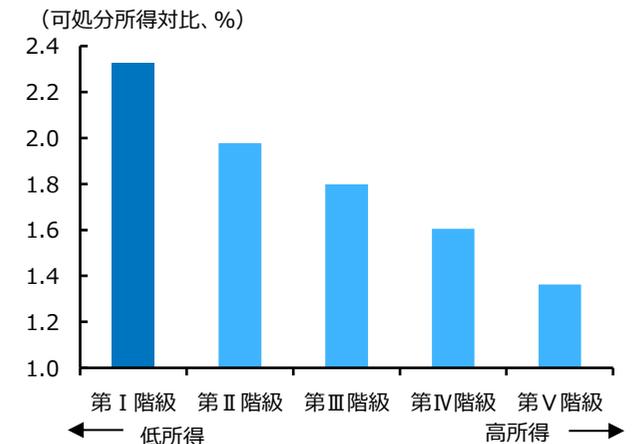
消費者物価の上昇率（上位20品目、前年比）



（資料）総務省を基に日本総研作成

（注）2022年9月時点。

物価上昇による家計の負担増加（2022年度）



（資料）総務省を基に日本総研作成

（注）二人以上の勤労者世帯。日本総研の消費者物価予測値を用いて試算。

内需主導で緩やかに回復

◆消費と設備投資が回復をけん引

7～9月期は、個人消費を中心に回復ペースが鈍化。夏場の全国的な感染再拡大を受けたサービス消費の伸び悩みが主因。

10～12月期以降は、内需主導で緩やかに回復する見通し。個人消費は、サービス関連のペントアップ需要を中心に回復が本格化。エネルギーや食料品などの価格上昇が家計の購買力を下押しするものの、コロナ禍で積み上がった過剰貯蓄や政府の物価高対策が個人消費の下支えに。設備投資は、企業の設備に対する不足感が強まることで、増加基調が続く見通し。脱炭素化やデジタル化に向けた投資需要も旺盛。

輸出は、水際対策の大幅な緩和を受けた、インバウンド需要の回復により、サービスを中心に増加する見通し。ただし、世界経済が勢いを欠くなか、財輸出の力強い伸びは見込めず。品目別では、自動車などの挽回生産が押し上げに寄与するものの、電子部品関連は弱めの動きを予想。

◆2022年度の成長率は+2.0%

2022年度の成長率は+2.0%と、コロナ禍による落ち込みからのリバウンドを背景に高めのプラス成長となる見通し。2023年度は+1.5%と、潜在成長率を上回る成長。出遅れ挽回局面が続くため、米欧と比べて高めの成長率となる見込み。

わが国主要経済指標の予測値（2022年11月4日時点）

	2022年									2023年				2024年				
	1～3			4～6			7～9			10～12			1～3			2021年度	2022年度	2023年度
													(実績)	(予測)				
実質GDP	0.2	3.5	1.6	2.1	1.8	1.5	1.2	1.0	0.9	2.3	2.0	1.5	2.3	2.0	1.5			
個人消費	1.2	4.8	0.6	2.4	1.8	1.4	1.1	0.9	0.9	2.6	2.9	1.4	2.6	2.9	1.4			
住宅投資	▲5.6	▲7.3	▲2.1	3.6	2.4	1.6	0.4	0.0	▲0.1	▲1.6	▲3.8	1.2	▲1.6	▲3.8	1.2			
設備投資	▲0.5	8.3	6.1	3.4	3.0	2.5	2.2	2.0	2.0	0.6	3.4	2.7	0.6	3.4	2.7			
在庫投資 (寄与度)	(2.2)	(▲1.1)	(▲0.3)	(▲0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.1)	(0.1)	(▲0.0)	(0.1)	(0.1)	(▲0.0)			
政府消費	1.6	2.8	1.8	0.5	0.4	0.4	0.2	0.1	0.1	2.0	1.6	0.4	2.0	1.6	0.4			
公共投資	▲12	3.9	4.0	2.2	1.6	1.2	0.8	0.4	0.2	▲7.5	▲2.6	1.3	▲7.5	▲2.6	1.3			
純輸出 (寄与度)	(▲0.0)	(▲0.0)	(0.1)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)			
輸出	3.6	3.7	8.7	1.3	1.3	1.4	1.9	1.9	1.7	12.5	3.8	2.0	12.5	3.8	2.0			
輸入	14.7	2.2	9.2	1.4	1.4	1.2	1.2	1.0	1.0	7.2	5.0	1.7	7.2	5.0	1.7			

(四半期は前期比年率、%、%ポイント)

	(前年同期比、%)														
名目GDP	0.2	1.2	2.2	2.8	3.0	2.8	2.5	1.9	1.7	1.3	2.3	2.2	1.3	2.3	2.2
GDPデフレーター	▲0.5	▲0.3	0.1	0.9	0.7	1.0	0.9	0.6	0.6	▲1.0	0.4	0.8	▲1.0	0.4	0.8
消費者物価指数 (除く生鮮)	0.6	2.1	2.7	3.7	2.5	1.6	0.8	0.9	1.5	0.1	2.8	1.2	0.1	2.8	1.2
(除く生鮮、エネルギー)	▲0.9	0.9	1.6	2.5	2.7	2.1	1.4	0.7	0.4	▲0.8	1.9	1.1	▲0.8	1.9	1.1
鉱工業生産	▲0.7	▲3.6	3.6	5.5	6.9	10.2	4.3	2.8	1.0	5.7	3.1	4.4	5.7	3.1	4.4

	(前年比、%)														
完全失業率 (%)	2.7	2.6	2.6	2.5	2.5	2.5	2.4	2.4	2.3	2.8	2.6	2.4	2.8	2.6	2.4
経常収支 (兆円)	3.00	0.50	▲0.48	▲0.01	2.16	0.24	1.36	0.07	1.45	12.64	2.13	3.11	12.64	2.13	3.11
対名目GDP比 (%)	2.2	0.4	▲0.4	▲0.0	1.6	0.2	1.0	0.0	1.0	2.3	0.4	0.5	2.3	0.4	0.5
円ドル相場 (円/ドル)	116	130	138	149	148	146	145	143	142	112	141	144	112	141	144
原油輸入価格 (ドル/バレル)	85	109	112	94	94	90	91	90	90	76	101	89	76	101	89

(資料) 内閣府、総務省、経済産業省、財務省などを基に日本総研作成

海外経済の前提

	(前年比、%)		
	2021年 (実績)	2022年 (予測)	2023年
米国	5.9	1.9	1.1
EU圏	5.3	3.3	0.5
中国	8.1	3.3	4.9

過去の実質GDP予測値

	(前年比、%)		
	2021年度 (実績)	2022年度 (予測)	2023年度
8月号	2.2	2.4	1.4
9月号	2.3	1.9	1.4
10月号	2.3	1.9	1.4

コアCPIは年末にかけて前年比3%後半へ

◆サービスの価格上昇は限定的

9月のコアCPIは前年比+3.0%と、6ヵ月連続で日銀の物価安定目標である2%を超えて推移。幅広い品目で値上げの動きが進展しており、財では前年比2桁の伸びとなる品目が多数。一方、サービスは1桁前半と、限定的な伸びにとどまる品目が大半。

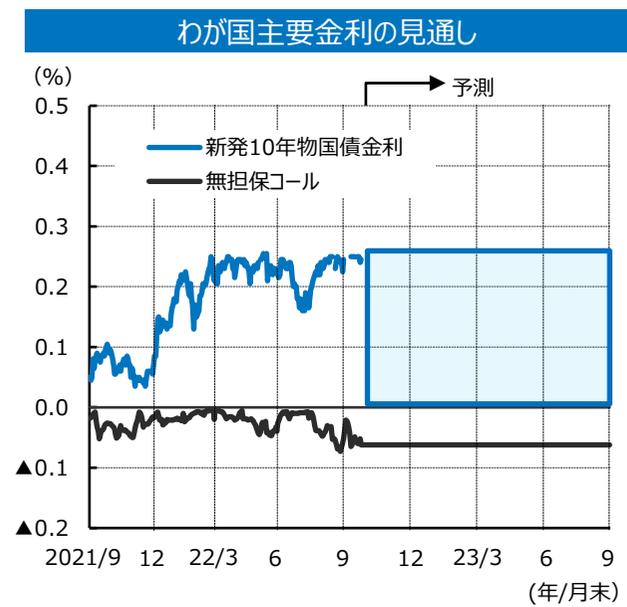
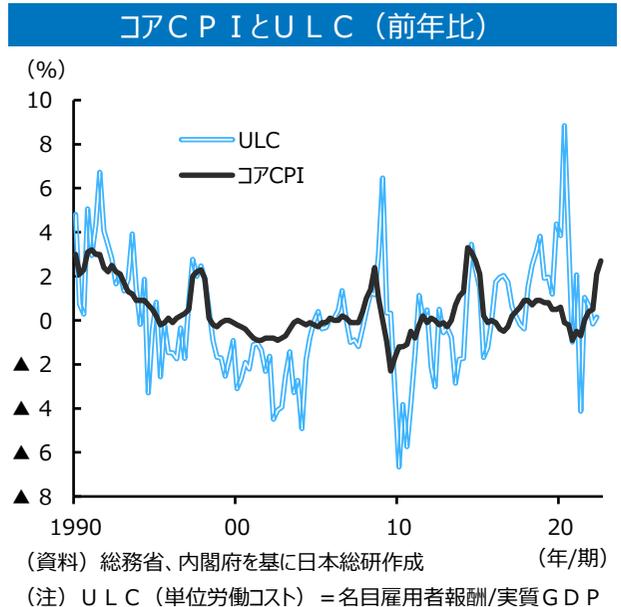
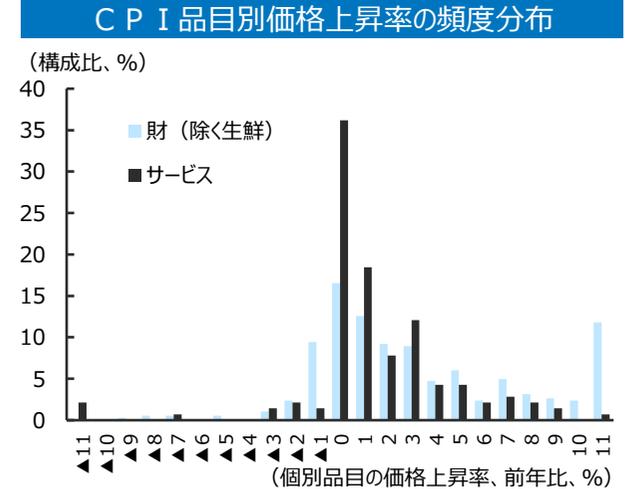
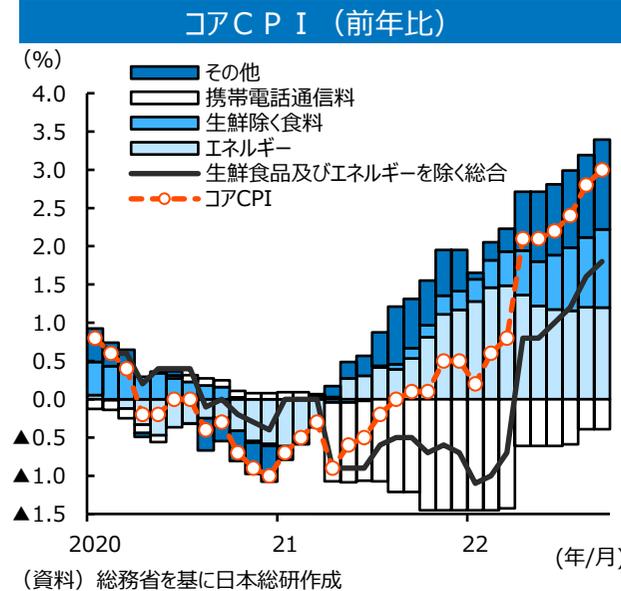
年末にかけては、食料品を中心にさらなる値上げが続くことで、コアCPIは前年比3%後半に達する見込み。

来年以降、コアCPIの伸びは1%台へ鈍化する見込み。資源高や円安の進行が一服するにつれて、輸入コストの上昇を価格に転嫁する動きは弱まると予想。また、電気・ガス代の負担軽減策が光熱費の上昇を抑制。賃金の伸びも限定的と見込まれることから、労働コストが物価を押し上げる圧力も小。

◆長期金利は現状水準近辺で推移

日銀は、10月の金融政策決定会合で、現行の緩和的な金融政策の維持を決定。海外金利へのつれ高圧力が強まるなか、10月前半は、日銀の指値オペによる金利上昇の抑制で割高感が強まる新発10年債で取引が不成立となる日が続出。

先行きを展望すると、日銀は需要面の強さが主導する物価の持続的な上昇が見通せないなかで、従来からの金融緩和姿勢を堅持する見込み。そのため、長期金利は現行水準近辺での推移が続く見込み。



内外市場データ (月中平均)

	短期金利	1-0円 (TIBOR)		円・円スワップ			国債		プライムレート		為替相場		株式相場		米国市場				欧州市場	
	無担O/N (%)	3か月 (%)	6か月 (%)	2年 (%)	5年 (%)	10年物 (%)	2年物 (%)	10年物 (%)	短期 (%)	長期 (%)	¥/\$ (NY終値)	¥/Eur (NY終値)	日経平均 株価 (円)	TOPIX (ポイント)	F F O/N (%)	1-0 3か月 (%)	10年国債 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	1-0 3か月 (%)	10年国債 (%)
19/1	▲0.06	0.04	0.10	▲0.00	0.01	0.17	▲0.16	0.01	1.48	1.00	108.99	124.47	20460.51	1541.56	2.40	2.77	2.71	24157.80	▲0.31	0.22
19/2	▲0.06	0.03	0.09	▲0.02	▲0.01	0.15	▲0.17	▲0.02	1.48	1.00	110.46	125.32	21123.64	1592.61	2.40	2.68	2.67	25605.53	▲0.31	0.13
19/3	▲0.05	0.03	0.09	▲0.03	▲0.02	0.13	▲0.16	▲0.04	1.48	1.00	111.13	125.58	21414.88	1602.83	2.41	2.61	2.57	25722.62	▲0.31	0.06
19/4	▲0.07	0.05	0.10	▲0.02	▲0.01	0.13	▲0.15	▲0.04	1.48	1.00	111.69	125.46	21964.86	1618.12	2.42	2.59	2.53	26401.58	▲0.31	0.01
19/5	▲0.05	0.05	0.10	▲0.03	▲0.02	0.11	▲0.16	▲0.06	1.48	1.00	109.98	122.99	21218.38	1547.17	2.39	2.53	2.39	25744.79	▲0.31	▲0.08
19/6	▲0.06	0.04	0.10	▲0.09	▲0.09	0.04	▲0.21	▲0.13	1.48	1.00	108.07	122.06	21060.21	1540.08	2.38	2.40	2.07	26160.10	▲0.33	▲0.27
19/7	▲0.07	0.04	0.11	▲0.09	▲0.10	0.03	▲0.20	▲0.14	1.48	0.96	108.25	121.38	21593.68	1573.16	2.40	2.29	2.05	27089.19	▲0.37	▲0.34
19/8	▲0.05	0.04	0.09	▲0.13	▲0.16	▲0.06	▲0.27	▲0.22	1.48	0.95	106.23	118.16	20629.68	1501.08	2.13	2.16	1.62	26058.23	▲0.41	▲0.63
19/9	▲0.06	0.01	0.06	▲0.13	▲0.14	▲0.04	▲0.29	▲0.22	1.48	0.95	107.51	118.34	21585.46	1579.13	2.04	2.13	1.69	26900.21	▲0.42	▲0.57
19/10	▲0.03	0.01	0.05	▲0.13	▲0.13	0.00	▲0.27	▲0.16	1.48	0.95	108.16	119.61	22197.47	1617.12	1.83	1.98	1.70	26736.80	▲0.41	▲0.45
19/11	▲0.05	0.02	0.05	▲0.06	▲0.05	0.07	▲0.20	▲0.09	1.48	0.95	108.91	120.32	23278.09	1697.37	1.55	1.90	1.82	27797.05	▲0.40	▲0.33
19/12	▲0.04	0.02	0.05	▲0.01	0.01	0.11	▲0.12	▲0.01	1.48	0.95	109.11	121.26	23660.38	1724.59	1.55	1.91	1.86	28167.01	▲0.40	▲0.27
20/1	▲0.03	0.02	0.09	▲0.00	0.01	0.09	▲0.13	▲0.01	1.48	0.95	109.28	121.35	23642.92	1719.06	1.55	1.82	1.76	28879.99	▲0.39	▲0.27
20/2	▲0.02	0.02	0.09	▲0.05	▲0.07	0.02	▲0.16	▲0.06	1.48	0.95	110.03	120.00	23180.37	1669.97	1.58	1.68	1.51	28519.73	▲0.41	▲0.43
20/3	▲0.05	0.01	0.08	▲0.11	▲0.10	▲0.01	▲0.21	▲0.02	1.48	0.95	107.69	119.08	18974.00	1385.57	0.65	1.10	0.88	22637.42	▲0.42	▲0.52
20/4	▲0.04	▲0.00	0.09	▲0.04	▲0.05	0.02	▲0.14	0.01	1.48	1.06	107.80	117.18	19208.36	1412.35	0.05	1.09	0.65	23293.90	▲0.25	▲0.43
20/5	▲0.04	▲0.04	0.07	▲0.04	▲0.05	0.03	▲0.15	▲0.00	1.48	1.06	107.22	116.93	20543.26	1488.06	0.05	0.40	0.67	24271.02	▲0.27	▲0.50
20/6	▲0.05	▲0.05	0.05	▲0.03	▲0.03	0.06	▲0.14	0.02	1.48	1.05	107.61	121.14	22486.93	1585.75	0.08	0.31	0.72	26062.27	▲0.38	▲0.40
20/7	▲0.04	▲0.07	▲0.02	▲0.04	▲0.04	0.04	▲0.13	0.03	1.48	1.05	106.72	122.44	22529.47	1560.76	0.09	0.27	0.62	26385.83	▲0.44	▲0.46
20/8	▲0.04	▲0.07	▲0.02	▲0.03	▲0.03	0.05	▲0.11	0.04	1.48	1.01	106.05	125.44	22901.45	1595.08	0.10	0.25	0.65	27821.37	▲0.48	▲0.47
20/9	▲0.05	▲0.06	▲0.05	▲0.05	▲0.04	0.03	▲0.13	0.03	1.48	1.00	105.61	124.48	23306.95	1632.81	0.09	0.24	0.68	27733.40	▲0.49	▲0.49
20/10	▲0.04	▲0.06	▲0.05	▲0.05	▲0.04	0.05	▲0.12	0.03	1.48	1.00	105.21	123.80	23451.44	1629.03	0.09	0.22	0.78	28005.10	▲0.51	▲0.57
20/11	▲0.04	▲0.06	▲0.05	▲0.05	▲0.04	0.04	▲0.13	0.03	1.48	1.00	104.41	123.60	25384.87	1714.50	0.09	0.22	0.87	29124.04	▲0.52	▲0.57
20/12	▲0.04	▲0.06	▲0.05	▲0.05	▲0.04	0.04	▲0.12	0.02	1.48	1.00	103.76	126.32	26772.95	1780.72	0.09	0.23	0.92	30148.58	▲0.54	▲0.57
21/1	▲0.03	▲0.06	▲0.05	▲0.06	▲0.04	0.05	▲0.12	0.04	1.48	1.00	103.72	126.29	28189.06	1842.18	0.09	0.22	1.06	30821.35	▲0.55	▲0.53
21/2	▲0.03	▲0.06	▲0.05	▲0.04	▲0.01	0.12	▲0.11	0.09	1.48	1.00	105.37	127.44	29458.80	1911.21	0.08	0.19	1.24	31283.91	▲0.54	▲0.39
21/3	▲0.03	▲0.06	▲0.05	▲0.04	0.00	0.15	▲0.13	0.11	1.48	1.00	108.72	129.37	29315.30	1947.82	0.07	0.19	1.60	32373.29	▲0.54	▲0.32
21/4	▲0.03	▲0.07	▲0.05	▲0.03	0.00	0.13	▲0.12	0.10	1.48	1.00	109.03	130.52	29426.75	1941.37	0.07	0.18	1.62	33803.29	▲0.54	▲0.28
21/5	▲0.04	▲0.07	▲0.05	▲0.03	0.00	0.12	▲0.12	0.09	1.48	1.00	109.15	132.61	28517.09	1908.12	0.06	0.15	1.61	34270.31	▲0.54	▲0.17
21/6	▲0.04	▲0.07	▲0.05	▲0.03	▲0.01	0.10	▲0.11	0.06	1.48	1.00	110.15	132.63	28943.23	1953.44	0.08	0.13	1.51	34289.91	▲0.54	▲0.21
21/7	▲0.05	▲0.07	▲0.05	▲0.03	▲0.03	0.05	▲0.12	0.03	1.48	1.00	110.23	130.35	28118.76	1931.88	0.10	0.13	1.31	34798.80	▲0.55	▲0.35
21/8	▲0.05	▲0.07	▲0.05	▲0.02	▲0.02	0.05	▲0.12	0.02	1.48	1.00	109.84	129.27	27692.73	1931.13	0.09	0.12	1.28	35243.97	▲0.55	▲0.46
21/9	▲0.03	▲0.07	▲0.05	▲0.00	0.01	0.09	▲0.12	0.05	1.48	1.00	110.17	129.62	29893.57	2063.04	0.08	0.12	1.36	34688.42	▲0.55	▲0.30
21/10	▲0.04	▲0.07	▲0.05	0.01	0.04	0.14	▲0.10	0.09	1.48	1.00	113.17	131.28	28586.20	1991.44	0.08	0.13	1.58	35055.52	▲0.55	▲0.15
21/11	▲0.05	▲0.07	▲0.05	0.01	0.03	0.12	▲0.11	0.07	1.48	1.00	114.06	130.12	29370.61	2022.87	0.08	0.16	1.56	35848.57	▲0.57	▲0.25
21/12	▲0.04	▲0.05	▲0.05	0.00	0.02	0.11	▲0.10	0.06	1.48	1.00	113.93	128.84	28514.23	1976.98	0.08	0.21	1.46	35641.33	▲0.58	▲0.31
22/1	▲0.04	▲0.05	▲0.03	0.04	0.08	0.19	▲0.07	0.14	1.48	1.00	114.86	130.00	27903.99	1954.51	0.08	0.26	1.76	35456.14	▲0.56	▲0.06
22/2	▲0.04	▲0.05	▲0.03	0.08	0.14	0.28	▲0.03	0.21	1.48	1.08	115.23	130.70	27066.53	1917.67	0.08	0.43	1.93	34648.48	▲0.53	0.21
22/3	▲0.03	▲0.05	▲0.03	0.08	0.15	0.32	▲0.03	0.20	1.48	1.10	118.70	130.77	26584.08	1885.51	0.20	0.84	2.12	34029.74	▲0.50	0.33
22/4	▲0.03	▲0.05	▲0.00	0.10	0.21	0.42	▲0.05	0.24	1.48	1.10	126.41	136.53	27043.33	1902.34	0.33	1.11	2.75	34314.99	▲0.45	0.79
22/5	▲0.03	▲0.05	▲0.01	0.10	0.20	0.41	▲0.06	0.24	1.48	1.10	128.79	136.28	26653.77	1879.00	0.77	1.48	2.89	32379.46	▲0.39	1.00
22/6	▲0.04	▲0.01	0.02	0.13	0.25	0.49	▲0.06	0.24	1.48	1.18	134.15	141.71	26958.39	1895.96	1.21	2.00	3.13	31446.71	▲0.24	1.50
22/7	▲0.01	▲0.01	0.04	0.11	0.20	0.43	▲0.07	0.23	1.48	1.20	136.65	139.15	26986.74	1908.46	1.68	2.61	2.89	31535.32	0.04	1.14
22/8	▲0.02	▲0.02	▲0.02	0.10	0.18	0.38	▲0.09	0.20	1.48	1.20	135.36	137.02	28351.67	1964.16	2.33	2.95	2.89	33009.56	0.40	1.11
22/9	▲0.05	▲0.01	▲0.02	0.15	0.28	0.53	▲0.07	0.25	1.48	1.24	143.21	141.78	27418.99	1922.22	2.56	3.45	3.51	30649.56	1.01	1.83
22/10	▲0.05	▲0.02	▲0.02	0.16	0.31	0.60	▲0.04	0.25	1.48	1.25	147.13	144.84	26983.20	1894.99	2.56	4.14	3.97	30570.68	1.43	2.20